

ワイスホルン（ニセコ） 1045m

令和3年2月14日

南東尾根コース

GL 長沼、スキーA班 L 藤木、SL 宇佐美、増川、八重樫、水江、佐藤、太田、B班 L 澤田、SL 宇田、笹山、酒井、谷、スノーシュー班 L 藤木た、竹内、栗山、森永、小笠原、津川 総員19名

7:00 伊達道の駅車5台出発、晴れ0℃金曜から快晴の穏やかな日が続いており今日の倶知安町の最高+5℃三月下旬の暖かさ、最低-11.3℃でこれでも平年より1.3℃低いだけ、2月中旬にして早くも山は春模様だった、明日は雨予報。国道は全面アスファルト走行道道に入ると圧雪と舗装道になる。倶知安に入るとすごい積雪量で住宅屋根の雪の多さにはびっくりするな。

8:45 除雪終点着3台車あり、まずはスムーズに全車駐車出来た。

9:20 体操、ビーコン受信モードの確認、発信モードにして林道ハイク開始。トレースは頂上までクッキリあった。

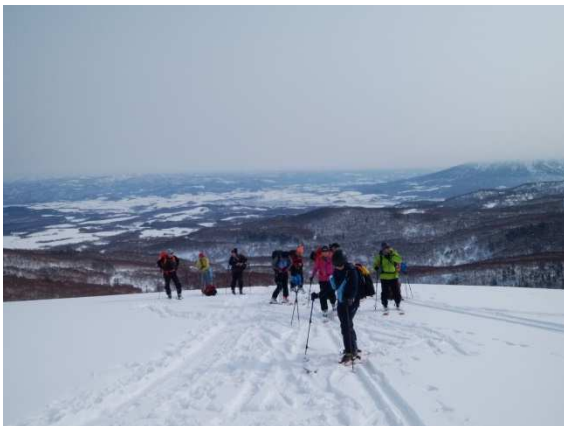
9:35 左方樹林帯に入る、クライミングサポートを1パターンにし、まだらな樹木の中を進む、白樺林がきれいだな。

9:55 ビーコン送信モード確認となる、ついで体温調整暑いここまで汗びしょりだ+2℃

10:05 登りにだんだん白一色な景色が広がってくる

10:15 きつい登りになるクライミングサポート2パターンにする。

10:25 急斜もほぼ終わり休憩、急登はここだけでした。イワオヌプリの削られた険しい北斜面が目の前に左方にニセコアヌプリの有名な北斜面を見る。羊蹄山はかすんで見える。



急登も終わり一息つく



右奥がピークかな

10:35 ハイクに10:45頃から突然風が吹き出してきた、涼しく気持ちよかったがだんだん寒くなり全身体温調整となる。

11:15 小高い丘に着くと山頂が見えた風はおさまる、緩い登りの雪原状中尾根が、山頂まで伸びて雪稜を詰めると少しきつい登りから**広い山頂に**。

11:25 **到着**、無風寒々さは全くなしカラっとした青空ではないが、壮大なスケールの山々が広がる日本海もくっきりみえる。スノーシュー班は途中までとしている。



もう少しでピークに



山頂着。11:25



右奥のピークから滑ってきました

11:45 レッツライドオン滑ろうぜ、雪は悪くない、かなり滑ってくれる雪質です。自分の持つスキルをはっきり自覚して、山では思いがけないことが起きえるが、ポジティブで前向きな気持ちを心がけよう。

アイシーな部分もなく引っ掛かりのないスムーズな雪質で滑りやすい、広い斜面を自由自在にロング、ショートターンをきざむことができたな。

11:50 全員停止、リーダーの指示でこれから進む方向の確認をする、今年はキャットスキーが稼働しないキャットゲレンデだけであって、落ち込みのきつい斜面も出現したが、フラットな雪面たっぷりの横幅、しっとりとした雪質たしかなフィーリングで、自分なりに大回り小回りターンの動きを複合しながらノンストップでリフト乗り場小屋があったボトムで11:55 滑り完了、頂上からオープンバーンでのロングライディングでした。

明日のことはどうなるかわからないくらい年を食ったけれども、何時いつまでもどんな時でも、小気味よいターン心地よいスピード感を操られることに挑戦したいものだなあ。ありえないことですが、ヨレヨレガタガタぼけじじになってしまったなあ、からっぽやみだったツケだな。

少しハイクして雪にすっぽり埋まりそうな建物の近くで雪上での食事となる。

12:35 林道ハイクにごく緩い登りが続く、息がフウフウ腕がアップアップでようやくの思いで尻から二人目に出発点にたどり着いた。

12:55 です。スノーシュー班は少し前に着いたそうですここで解散式をして13:15 全車帰路に。

CL、SL、Lの皆様ご苦勞様でした。いつもついて行くだけですが、幸いにもいい天気にも恵まれての山行でした、ありがとうございました。

会計の方、運転者さん そして皆さんお疲れ様でした。

記録 佐藤